

キカイダー01 (1973)

メディア TV

ジャンル 特撮 ヒーロー アクション

製作国 日本

色彩 Color

1973/05/12 ~ 1974/03/30

TV放映 土曜日

20:00~20:30

日本教育テレビ（現テレビ朝日）

【解説】

『人造人間キカイダー』続編。ハカイダーは生きていた。ギルの脳を入れて蘇ったハカイダーは、レッド、ブルー、シルバーハカイダーという部下を従え、ハカイダー部隊を指揮して世界征服を狙う。邪悪なエネルギーが満ち満ちたとき、仁王像に隠されていた人造人間キカイダー01＝イチローが活動を開始、帰ってきたジロー＝キカイダーとともにハカイダー部隊に立ち向かう。

第8話より、さらに強力な大犯罪組織シャドウが登場。当初はスクリーンに影を映すのみの存在だったが、途中から人間体で姿を現すようになり、八名信夫がプロフェッサー・ギルとは一味違った悪の首領を好演した。後半では着ぐるみ怪人の登場が減り（出てもダークロボットの改造）、キカイダーは最終回まで登場しなくなるが、脚本の面白さで作品レベルは保たれていた。シャドウに作られながらも不完全な良心回路を得たビジンダー、善悪の区別のつかない刺客ロボット・ワルダーなどのサブキャラクターが登場、自らの存在意義を問いつつ戦い続けるキャラクタードラマとなる。

また、池田駿介の“頼れるアニキ”像は、彼一流の独特のポーズも相まって、前作の悩めるロボットとは異なる爽快感を出していた。何度破れても執拗にキカイダーを狙い続けるハカイダーの姿に、前作のファンは涙したが、本作の通称ギル・ハカイダーを支持する声も多い。

【クレジット】

監督	永野靖忠	
	島山豊彦	
	今村農夫也	
	松村昌治	
企画	平山亨	
	吉川進	
プロデューサー	宮崎慎一	(NET)
原作	石森章太郎	
脚本	長坂秀佳	
	滝沢真理	
	押川國秋	
	島田真之	
	曾田博久	
撮影	相原義晴	
特撮	特撮研究所	
	藤井和文	
	(株)特効	
美術	森田ふみよし	

編集	松谷正雄	
音楽	渡辺宙明	
演奏	スクリーンミュージック	
技斗	三島一夫	
助監督	青木弘司	
ナレーター	岡部政明	
出演	池田駿介	イチロー／キカイダー 01
	隅田和世	リエコ
	五島義秀	アキラ（プロフェッサーギルの息子）
	久里みのる	百地頑太
	志穂美悦子	マリ／ビジンダー
	八名信夫	ビッグシャドウ
	松本聖	ミサオ
	伴大介	ジロー／キカイダー
	石井聖孝	ヒロシ（プロフェッサーギルの息子）
	津路清子	
	榎本武士	
	三橋幸男	
声の出演	渡部猛	ワルダーの声
	飯塚昭三	ハカイダーの声
	大宮悌二	レッドハカイダーの声
	鈴木泰明	ザダムの声
	細井雅男	ザダムの声
	和久井節緒	ブルーハカイダーの声
	江川菜子	ビジンダーの声